

簡素に、けれど“時”に愛される家を

Builder:
Archi Airs

Note:
長野市/O邸
家族構成/4人

コンセプトは
永く愛されて
本物になる家

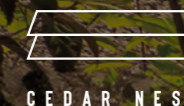
善光寺近くの静かな住宅地にO邸があります。片流れの屋根を載せたシンプルな平屋で、外壁は県産のスギ板を鏝張りにしました。その佇まいは、周りの景色を損なうことなく自ら馴染ん

で、完成して1年半ほどしか経っていないとは思えません。

Oさん夫妻は二人目の子が出来たのを機に住まいづくりを決意しました。県産材を使う工務店を探そうと、ふらっと立ち寄ったアーキエアーズのモデルハウスに一目惚れします。さらにその住まいが「永く愛されて本物になる」をコンセプトにしていることを知り、これからずっと暮らしていくはずの家に愛着をもち続けられることが、自分たちにとってどれほど価値あることかに気付きました。

その家が永く愛されるために、アーキエアーズが貫く設計思想があります。たとえば、木、鉄、石など本物の素材を使うこと。特に木については、信州の豊かな木材資源を未来へ継承するため、地元材を積極的に使うこと。O邸にも外壁の他、床材にも県産のスギが用いられ、家族を優しく包んでいます。

こうした素材は時間の経過とともに味わいを増すため、愛着もまた増します。その家のあり方を目にするご近所や街の人の親しみも増すことでしょう。そんなふうに住む人からも街の人からも愛されるから、家は本物として育っていくのでしょう。





D 東西に長い平屋の南側に大開口を設け、庭の眺めも庭へのアクセスも良好。室内を最小限の広さにとどめながら、広い庭を生かしたゆったりした暮らしを実現した。 **E** 寝室や浴室のある側からリビングダイニングを見る。家族が集う場と、よりプライベートな空間の質の違いを、天井高などで表現している。

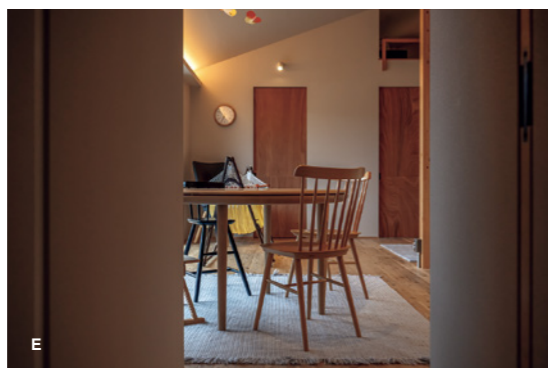
LDKが、人と人を
人と庭を、庭と家をつなぐ

今は幼い二人の子も、やがてこの家を出る日がやってきます。その後のことを考えたら、今から10年ほどは少し手狭に感じても、室内は必要最小限の広さで構わないと夫妻は考えました。むしろ、この先部屋の使い方が変わったとき融通が利くことの方が優先して、1階部分だけでなく30坪に満たないこのプランができたのです。

でもその造りには、アーキエアーズの設計思想がやはり生きています。O邸は東西に長い形状で、南面は建坪の2倍以上の広い庭に面しています。家ができてから、家族はそこへ芝を植え、家庭菜園をつくりました。土間のデッキは屋根付きなので、アウトドアテーブルを出して休日の食事を楽しみます。お風呂に浸かりながら眺める庭の様子もお気に入りです。「将来庭にリモートワーク用の小屋を自作するのでもいいかな」。伸びやかに発想が広がる暮らし方こそまさに、家と庭が一体となる建築のたまものなのです。

室内はLDKが家の中心になり、寝室、子供部屋、書斎など他の空間を結びます。庭はそのLDKの目の前ですから、LDKは人と人、人と庭、庭と家をつなぐ基点といえます。

一年中快適に暮らせる性能を確保しながら、家族の価値観にこんなふうに取り添い、周辺環境や信州の自然のことも思いやるO邸は、果たして、時の流れに愛される家なのです。



B 家の中心となり、屋内の他の空間や庭をつなぐ基点となるLDK。片流れの屋根の形状を生かした天井に開放感がある。 **C** 床は県産のスギの無垢材を使用。足に優しく温かい。階段を上るとロフト収納へ至る。階段下のスペースは見せる収納として活用した。



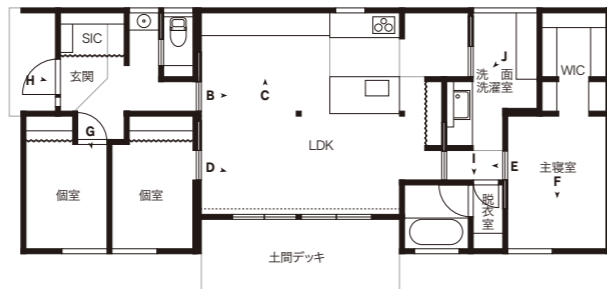
K_家の完成後1年かけて庭づくりをした。家庭菜園も設け、今年から手づくりの新鮮野菜が食卓に上っている。 L_片流れ屋根の素朴な外観。平屋であることと相まって、周囲の環境にも溶け込みやすい。

PLAN

DATA

敷地面積	502.39㎡ (151.67坪)
延床面積	91.09㎡ (27.50坪)
1F面積	91.09㎡ (27.50坪)
ロフト面積	9.93㎡ (3.00坪)
デッキ面積	4.96㎡ (1.50坪)

工法/木造在来軸組工法 基礎/ベタ基礎 構造材/柱:スギ3.5寸角・4寸角、土台:ヒノキ3.5寸角 断熱材/天井:ウレタン吹き付け220mm、壁:高性能グラスウール105mm・付加断熱材ネオマフォーム30mm、基礎:ウレタン吹き付け100mm 主な外装仕上げ/屋根:ガルバリウム鋼板、外壁:県産スギ・塗り壁 主な内装仕上げ/天井・壁:クロス、床:県産スギ 開口部/トリプルガラス キッチン/永大産業 ラフィーナネオ キッチン熱源/ガス バスルーム/タカラスタンダード リラクシア 暖房の種類/床下エアコン C値/0.38 UA値/0.25



1F



F_シンプルなインテリアの主寝室。ワークイン・クローゼットは写真手前に設けた。 G_この部屋はリモートワークの多いご主人が書斎として使っているが、将来二人のお子さんのどちらかが使うことも想定している。 H_暖色の照明をワンポイントに使った玄関。木の温かみを引き出し、家に帰った安心感をもたらしてくれる。 I_お風呂からは、モミジやソヨゴといった木々の葉のそよぎ、季節ごとの移ろいを楽しむ。 J_造作したこの洗面化粧台を真ん中に、洗濯室、キッチン、浴室など水周りが回遊動線で結ばれている。



Owner:
Oさんご家族



Builder:
コンシェルジュ/今井雄介さん

Q1. 家づくりで一番大切にされたことは?

A 屋内空間は小さめでも、広い敷地を生かしたゆったりした生活を楽しむこと。

Q2. こうしておいてよかった、と思ったことは?

A できるだけシンプルな間取りで、将来の生活の変化にも柔軟に対応できるようにしたこと。

Q3. このビルダーさんに頼んでよかったことは?

A イメージにピッタリの家ができました。暖かさも評判どおり。アフターフォローにも親身になって対応してくれます。

Q1. この家のコンセプト、ポイントは?

A 「LDKから繋がる家」。LDKを中心に、家族や庭、各部屋、水周り、収納、玄関などすべてが繋がる住まいです。

Q2. この家の見どころを3つに絞るなら。

A 善光寺近くの雰囲気合う県産材スギの外壁。東西にのびる平屋。庭と家のつながり、LDKを中心にした屋内のつながり。

Q3. 家づくりで一番大切にしていることは?

A 「Long Loved Design」~永く愛されて本物になる~。ご家族にとって、永く愛せる住まいを実現することです。

